

# 令和元年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

## 全体の概要

大阪市立北巽	小学校	児童数	66
--------	-----	-----	----

## 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.26	16.04	30.55	35.23	35.13	9.38	142.68	20.74	48.43
大阪市	16.40	19.40	32.70	39.96	48.15	9.41	149.30	21.44	52.53
全国	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.45	21.61	53.61
女子	16.53	16.80	35.56	33.58	33.40	9.81	137.90	14.26	51.06
大阪市	16.15	18.51	37.54	38.38	38.97	9.65	142.68	13.31	54.47
全国	16.09	18.95	37.62	40.14	40.79	9.64	145.68	13.61	55.59

## 結果の概要

男子は、「握力」「50m走」のみ全国平均を上回っており、その他の種目では全て全国平均を下回っている。女子は、「握力」「ソフトボール投げ」において全国平均を上回っており、その他の種目では平均を下回っている。男女ともにT得点が40ポイント付近(男子41.8、女子40.9)である「反復横跳び」が最も課題のある種目であるといえる。また体力合計点は男女ともに5ポイント程度低く、男女ともに運動能力において課題があるといえる。

## これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校児童は、休み時間になると運動場へ出て遊んでいる児童が多い。ドッジボールやバスケットボール鬼ごっこ、縄跳びなど多様な運動を楽しんでいる。また、学期に一度、「元気モリモリ週間」という健康・食事・運動に関する強化週間を設けて、児童や保護者に啓発を行っている。その際には、各委員会が連携して活動を行ってきた。強化週間の校内アンケート結果から、児童の意識の高まりがみられた。昨年度と同様、「反復横跳び」において課題があるとわかったため、今年度より俊敏性を高められるラダートレーニングを取り入れた。委員会による休み時間での啓発活動や、各学級の準備運動等に取り入れている。また、「元気モリモリ週間」においても児童が俊敏性を高められるなわとび運動に取り組めるよう各学年に応じた指標に設定した。そのことにより、休み時間になわとびに取り組んでいる児童の姿が多数見られた。今後も継続して続けていく。家庭に対しても、健康・食事・運動における啓発活動を行っていき、学校と家庭が連携して児童への指導・支援を行っていく。